

大会開催にあたって主催者が感染予防に備えること

- (1) 入口及び各所にアルコール消毒液を設置し、手洗い・手指消毒の励行を促す。
- (2) 会場入り口に非接触型体温計を配備し、来場者の検温を行う。
- (3) スタッフはマスク・手袋等を着用し、ブース等には透明ビニールカーテン等の間仕切りを設置する。
- (4) 来場者が並ぶ可能性のある場合は、ソーシャルディスタンスの確保(2m程度)を行う。
- (5) 救護室を用意し、使用の際は換気を行う。
- (6) 午前と午後各 2 回以上、不特定多数の人が触れる箇所をアルコール消毒する。
- (7) 会場内は飲食禁止とし、ごみは持ち帰っていただく。
- (8) 感染防止対策について、ホームページやチケット等に掲載し、協力をいただくよう周知する。
- (9) スタッフ、来場者、出演者から感染者が発生した場合、濃厚接触者に該当される方は、氏名、連絡先等の情報を、保健所等公的機関へ提供する場合があることを関係者へ周知する。
- (10) 今後の感染拡大状況によっては、急遽大会を中止する場合があることを関係者へ周知する。

チケット等の販売について

- (1) チケット・プログラムは事前販売のみとし、当日販売は行わない。
- (2) 物品販売等、対面するスタッフはマスク・フェイスシールド・手袋等を着用する。

来場者入退場時の対応について

- (1) 半券の切り取りはスタッフが目視したうえでお客様自身にお願いし、半券箱へ入れていただく。
- (2) 再入場の際は、チケットを提示していただき、スタッフが目視で確認する。
- (3) ソーシャルディスタンスの確保を求めるアナウンスをし、案内板を掲示する。
- (4) 来場者の氏名や緊急連絡先等を把握するため、来場確認書に記入いただき回収する。

開場中、休憩時間、大会終了後等の対応について

- (1) マスク着用のうえ会話を控え、トイレ利用時以外は自席で静かに過ごすよう周知する。
- (2) トイレの利用時やロビー等ではソーシャルディスタンスの確保を呼びかける。
- (3) 午前と午後とで観客の入れ替えを行い、会場内の消毒を行う。
- (4) 観客の入れ替え時や大会終了後は混雑を避けるため、時間差を設けて退場するよう促す。
- (5) 体調不良者が出た場合は、速やかに救護室へ案内し、換気を行ったうえで他の観客との接触を避けていただく。場合によっては帰宅を促し、必要に応じて医療機関への受診を勧める。対応するスタッフはマスクや手袋等の防護対策をとる。

スタッフ・出演者の感染防止対策について

- (1) 検温等健康観察を行い、記録する。必要な場合は提出を求める。大会 2 週間前からは特に体調の管理を十分に行うよう周知する。
- (2) 大会 1 週間前に、次のいずれかにあてはまる者は、医療機関や保健所に相談のうえ、その判断に基づき出演の可否を決定する。
 - ① 37.5 度以上の発熱がある。
 - ② 咳や呼吸困難、咽頭痛、全身の倦怠感等の症状がある。
 - ③ 味覚や嗅覚に異常がある。
 - ④ 結膜の充血がある。
 - ⑤ 頭痛、関節痛、筋肉痛がある。
 - ⑥ 下痢、吐き気、嘔吐等の症状がある。
 - ⑦ 過去 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性と診断された人との濃厚接触がある。
 - ⑧ 過去 2 週間以内に入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合等。
- (3) 大会当日は検温のうえ、マスク着用とし、石鹸を使った手洗い、アルコール液での手指消毒を丁寧に行うよう周知する。
- (4) 楽器や楽譜等の取扱い後は、こまめに手洗いや手指消毒を行うよう周知する。
- (5) 不特定多数が使用する譜面台やステージ上の椅子等のセッティングは、担当のスタッフで行う。
- (6) 譜面台やステージ上の椅子等は、午前と午後で消毒を行う。
- (7) マイク等複数名が共有する機材については会館責任者と相談し、適宜消毒する。
- (8) 開場備え付けの楽器(ピアノ等)を使用する場合は、会館責任者と相談し、適宜消毒する。
- (9) 管楽器奏者は、演奏時に生じる結露水の処理を吸水シート等で行い、使用後は衛生に注意して持参したごみ袋に廃棄し、持ち帰る。
- (10) 体調に異変を感じた場合は、すみやかに主たるスタッフへ申告する。

以上